

令和 3 年度 FD 実施計画書・報告書

令和 4 年 3 月現在

I 学部学科・研究科名

教育学部 児童幼児教育学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組 N o	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定に向けた問題検討、目標・計画設定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	・ 7 月の学部 FD において、既存の「教職ルーブリック」と「保育職ルーブリック」の再確認を実施。学部における DP ルーブリックの現状と課題を共有。 ・ アセスメントプランについては、令和 5 年度開始の新カリ（23 カリ）の運用を見据えながら、DP ルーブリックの検討とともに継続的に検討を重ねていく。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率 （授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマット導入の検討	I-2-(1)	・ 令和 3 年度の①授業ルーブリック・②課題ルーブリックの実施率は、それぞれ①23%、②20%であった。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の設置検討	I-1-(4)	・ 令和 5 年度開始の新カリ（23 カリ）の運用を見据えながら、数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の設置に向けた検討が行われた。
4	「成績評価ガイドライン（仮）」のポリシー策定 ・ FD センターから提供された成績評価ガイドライン（仮）（暫定案）をもとに研修会実施・意見共有	I-2-(2)	「成績評価ガイドライン（仮）」に関する意見交換を行い、その策定の必要性や理念等の共有が図られた。詳細にかかる検討を令和 4 年度も継続して実施していくことが確認された。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	年間を通じて計画的な FD の展開を図り、教職協働を意識しながらの DP 保障に向けた取り組みが展開された。「その他」にも記載しているように、teams 等の活用も含めて、定例以外の場面においても学部 FD を支える理念としての AI（Appreciative Inquiry）アプローチに基づく取り組みが積極的に推進された。
取組 N o	B その他取り組み項目		B その他取り組み項目 達成内容
6	特になし		

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	4 月	「令和 2 年度 FD 実施報告および事業計画の令和 3 年度活動プランについて」 令和 2 年度 FD 研修・実施の点検結果の報告。令和 3 年度事業計画の各目標の担当者が目標達成に向けた令和 3 年度の活動プランの説明。業務分掌、教務および研究に関連するスケジュールの確認。各種業務に関する改善アイデアの収集と共有。 (話題提供:FD 委員会・各目標の担当者, カテゴリ:全般)	4 月 2 日	令和 2 年度の学部 FD 研修・実施の点検結果の報告ならびに第 8 次中期総合計画に基づく令和 3 年度事業計画の目標達成に向けた学部 FD の年間活動プランの説明を実施。業務分掌を明確にし、教務的な業務及び教育・研究の充実に資する FD 実施に関連するスケジュール等の共有が図られ、4 月学科会議にて了承された。
1 3 5	5 月	「令和 4 年度教育課程および 23 カリ(令和 5 年度開始)について①」 来年度(令和 4 年度)の教育課程について。2023 年度から開始する教育課程(23 カリ)の概要と開始までのスケジュールについて。 (話題提供:カリキュラム検討委員会・教務委員, カテゴリ:教育)	5 月 6 日	令和 4 年度の教育課程ならびに 2023 年度実施の教育課程(23 カリ)の概要と開始までのスケジュールについての確認と共有が図られた。
5	6 月	「直近 3 年間の進路状況と展望に基づく教職指導・保育職指導の提案」 学生の進路に関する状況と展望。教職指導・保育職指導の状況と展望。 (話題提供:教職課程委員会・保育課程委員会・就職委員, カテゴリ:教育)	6 月 3 日	学生の卒業後の進路(就職)に関する実態の共有と共に、教職指導・保育職指導の現状と課題にかかる認識の共有を図り、学生指導の参考となる知見の共有が図られた。
1 2	7 月	「学生が自立する学習者になる手立てについて」 授業ルーブリック, 課題ルーブリック, ポートフォリオ, ICT を活用した授業, について。 (話題提供:FD 委員会・FD センター委員・先行実践教員, カテゴリ:教育)	7 月 1 日	「教職実践演習(小・幼)」 「教職実践演習(幼稚園)」の授業を中心に実施されている教職・保育職ルーブリックにかかる取り組みの現状と課題について担当者より報告がなされ、現状と課題の共有が図られた。
5	8 月	「研究活動の活性化について」 科学研究費や学内プロジェクト研究の申請に向けて学部教員の研究テーマを相互に知る機会とし、共同研究の可能性を探る。 (話題提供:研究委員・FD 委員会・FD センター委員, カテゴリ:研究)	8 月 5 日	連携推進部の協力を得ながら、外部競争的資金(科学研究費等)を活用した研究テーマ・受託状況や学内プロジェクト研究のテーマにかかる調査を実施。教員相互の研究に関心をもつ機会とし、今後の共同研究の可能性を探る機会とした。
1 2 3 4 5	10 月	「令和 3 年度事業計画の中間報告について」 令和 3 年度事業計画の各目標の担当者が進捗状況を報告。学部として状況を把握し、遅れている場合は目標達成に必要な手立てを検討する。 (話題提供:FD 委員会・各目標の担当者, カテゴリ:全般)	10 月 7 日	第 8 次中期総合計画における令和 3 年度事業計画の目標達成に向けた FD 活動プランを踏まえつつ、各目標の担当者より進捗状況や準備状況にかかる中間報告がなされた。

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	11 月	「社会連携の事例について」 教育学部の社会連携事例の実態と取り組み事例を報告。事例には「付属幼稚園との食育関連の連携推進」を含む。 (話題提供:FD 委員会・事例報告者・保育課程委員会, カテゴリ:社会連携)	11 月 4 日	発達支援センターに係る取り組みとして、担当者より「中村学園大学発達支援センターにおける社会連携・社会貢献」と題して報告がなされた。併せて、発達臨床支援部門による社会貢献として、令和 2 年度には「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を得たことが報告された。 付属幼稚園との「食育連携推進」に係る取り組みとして、担当者より「『食』をテーマにした写真絵本制作ワークショップ」の実際について報告がなされた。
1 3 5	12 月	「令和 4 年度教育課程および 23 カリ(令和 5 年度開始)について②」 来年度(令和 4 年度)の教育課程とシラバス等について。2023 年度から開始する教育課程(23 カリ)の進捗状況について。 (話題提供:カリキュラム検討委員会・教務委員, カテゴリ:教育)	12 月 2 日	令和 4 年度の教育課程ならびに 2023 年度から開始する教育課程(23 カリ)の概要と開始までのスケジュールの再確認とカリキュラム改訂に向けた進捗状況について、確認と共有が図られた。
5	1 月	「教育実習のための在外教育施設との協定締結について」 協定内容と協定締結に向けたロードマップについて。 (話題提供:教職課程委員会, カテゴリ:教育)	2 月 2 日	担当者より、教育実習等にかかる在外教育施設との協定締結に向けた大まかなロードマップの説明がなされた。現地校の選定にあたり、1 月現在、候補先のひとつとなっているオーストラリアを訪問する予定であり、令和4年度の学部 FD の中で報告されることを確認した。
1 2 3 4 5	3 月①	「令和 4 年度 FD 実施計画について」 令和 3 年度の事業報告の達成度評価と令和 4 年度の事業計画および令和 4 年度の FD 実施計画について。 (話題提供:FD 委員会・各目標の主担当者, カテゴリ:全般)	3 月 3 日	令和 3 年度の学部 FD 研修・実施の点検結果の報告ならびに第 8 次中期総合計画に基づく令和 4 年度事業計画の目標達成に向けた学部 FD の年間活動プラン(案)の説明が実施され、了承された。
5	3 月②	「教育学部プロジェクト研究について」 第6回中村学園教職教育研究会において、教育学部に関連するプロジェクト研究3件と教職教育に関する研究の成果を共有し、研究と教育の展望について意見交換を行う。 (話題提供:プロジェクト研究メンバー, カテゴリ:教育・研究)	3 月 10 日	研究報告 15 件中、学部教員の関係する研究報告は 10 件であり、教職教育並びに保育職教育の成果の共有が図られた。
	その他	9 月は、全学の教育ワークショップに担当学部として参加する。2 月は予備回とする。新たに着任した教員をスピーカーとするランチョンセミナーや教職員間の情報共有を目的とする fd(ミニ FD)ラウンドテーブルを不定期に数回実施する。また、各目標に対応する事業の進捗状況や情報交換は学部の Teams で必要に応じて共有する。	4 月～	学部 FD の中心的なテーマとして位置付けている AI(Appreciative Inquiry)アプローチの考え方のもと、主に新任者を対象としたランチョンセミナー・fd ラウンドテーブルが実施され、新任者との交流、安心して働ける職場づくりが展開された。 各目標に対応する事業の進捗状況や情報交換は、テーマごとに Teams を活用しながら展開された。